

第60回全国印刷緑友会・名古屋大会



名古屋といったら運動会!!を实践
全国から280名が参加、貴重な体験を積む

記念式典・懇親会会場

全国印刷緑友会（杉山喜久尚会長・緑友会）が主催する「第60回全国印刷緑友会名古屋大会」が「名古屋といったら運動会！」をテーマに、10月27日、名古屋而立会（堺貴弘会長／三浦康太郎名古屋大会実行委員長）が主管し開催された。当日は午前10時から名古屋市東スポーツセンターで運動会、午後6時からキャスルプラザで名古屋大会式典・懇親会と行ない、全国から280名の会員が参加した。

名古屋市東スポーツセンターで開催された運動会は、開会宣言に続き大玉入れ、綱引き、障害物リレー、四択クイズ、FINALリレーなど、趣向を凝らした競技が午前の部、昼食休憩、午後の部と続き、参加者全員が心地よい汗をかくとともに、スポーツを通しさらなる交流の輪を深めた。なお、昼食の間に中日ドラゴンズのオフィシャルパフォーマンス

チーム「チアドラゴンズ」によるダンスパフォーマンスが披露され会場を盛り上げた。

運動会終了後、会場を名古屋駅前のキャスルプラザに移し式典・懇親会が行なわれた。

式典で歓迎挨拶に立った堺会長は、「久しぶりの本気の運動会いかがでしたか。おそらく皆さん明日は筋肉痛でしょう。しかしその筋肉痛も心地よいもので、仲間との勝ち負けに一喜一憂した思い出が、大きな記憶として残るのではないかと思います。同じ志を持った大勢の仲間がいる。仲間と語り合い平成最後となる緑友会大会を盛り上げていただきたい」。次いで杉山会長が「今回の大会では、同じ体験をする仲間が同志的結合を図った。これは非常に大事で、緑友会は今後も同志的結合を図るための場を提供していきたい」と述べた。

続いて、来賓紹介に移り、全国青年印刷人協議会青木充議長、愛知県印刷工業組合細井俊男理事長が紹介された。代表して細井理事長が、「全国緑友会には7団体660余名の仲間がいると聞きます。お互いに情報を持ち合い交換することで2倍、3倍になる。これは貴重なことで、数字以上の学びが得られる。研鑽を積み成長されることを期待している」と励ましの言葉を贈った。

休憩をはさみ懇親会に移り和気藹々の宴が進み、名古屋の一夜を楽しんだ。



名古屋而立会
堺会長



全国印刷緑友会
杉山会長

走り・飛び・転がった運動会スナップ写真



第60回全国印刷緑友会名古屋大会



優勝を勝ち得た金沢印刷人クラブ／京都青年印刷人月曜会のチーム



名古屋大会開催に尽力した名古屋而立会のメンバー